

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

埼玉県東松山市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上~200床未満	民間企業出身
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
90,456	13,805	第2種該当	-	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

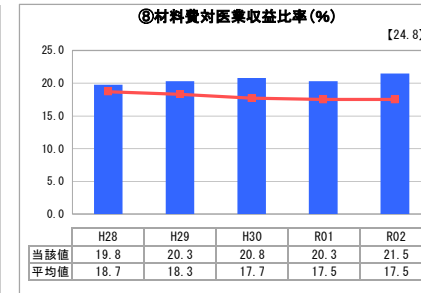
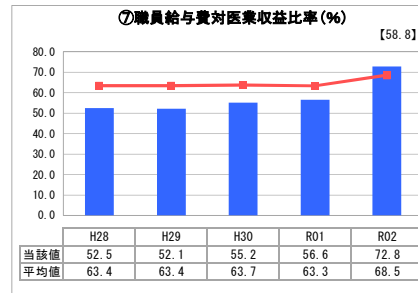
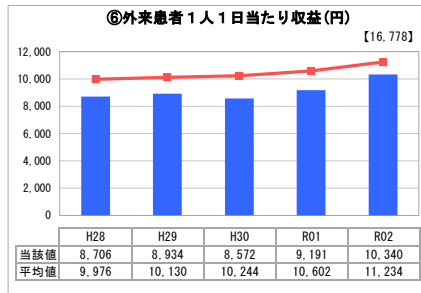
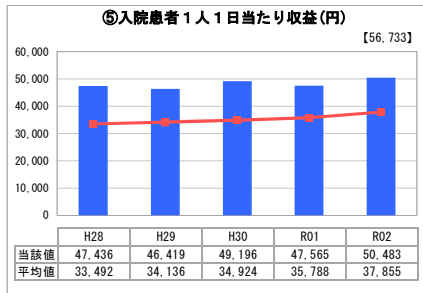
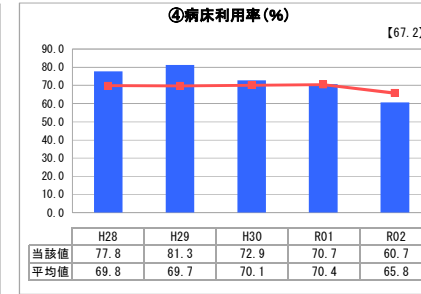
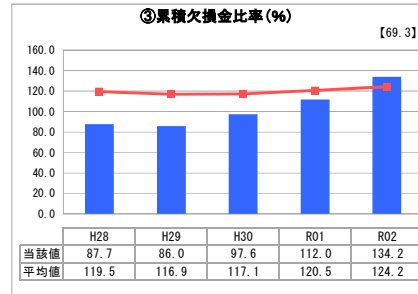
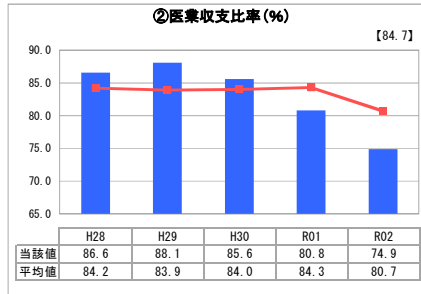
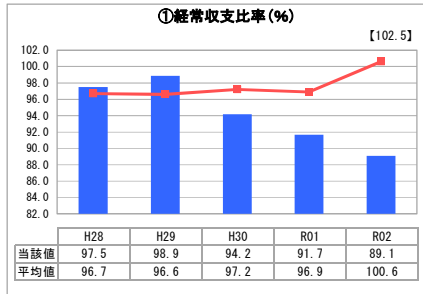
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
110	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	114
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
110	-	110

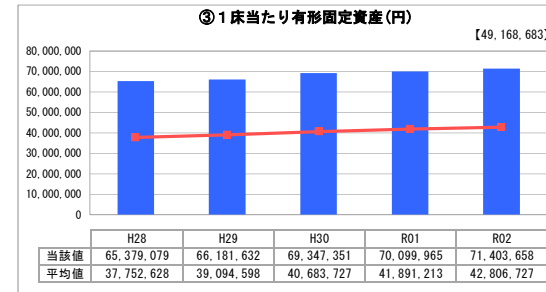
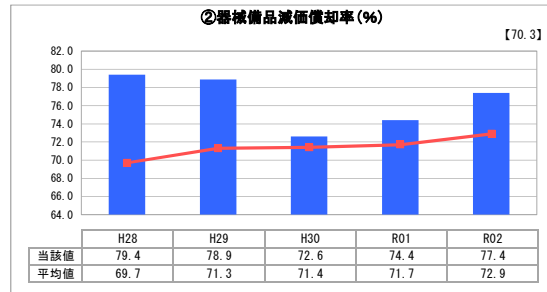
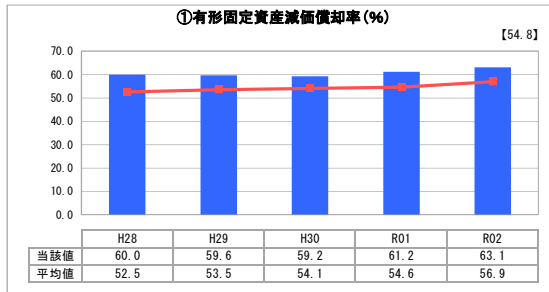
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

比企地域のほぼ中央に位置しており、12の診療科を有する地域の中核的な医療施設としての役割を担っています。  
救急医療機関、第二種感染症指定医療機関及び病院群輪番制病院の認定、指定を受けるなど公立病院としての役割を果たしつつ、地域における医療ニーズに応えられる体制を整備します。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症の影響により、受診を控える傾向があったことから、患者数及び収益ともに前年度実績を大きく下回る結果となり、経常収支比率、医療収支比率ともに全国及び類似病院の平均を下回りました。患者1人1日当たりの収益は、前年度と比べ増やすことができましたが、健全な経営を実現させるためには、引き続き医療収益を増やす取り組みが必要と考えます。  
なお、職員給与費対医療収益比率が大きく増加したものは、医療収益が上記の理由から減少していることに加え、会計年度任用職員制度が導入されたことに伴い、報酬が大幅に増加したことによるものと考えます。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産及び機械備品の減価償却率は、ともに全国及び類似病院の平均を上回っています。現在、建物及び設備関係の大規模修繕を計画的に行っていることから、建物・設備関係の減価償却率は今後減少することが見込まれます。器械備品については、病院経営的な側面からも、安全性が確保できるものは、法定耐用年数を超えるものでも可能な限り修繕等で対応し、計画的な更新を行います。  
なお、建物関係については、許可病床数よりも広いスペースを確保しており、現許可病床数の1床当たりの有形固定資産は、割高になる傾向があります。

### 全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響による医療収益の減少が著しく、経常損失が大幅に増加し、過去十数年で最も経常損失が大きいという結果となりました。今後も、建物・設備関係の大規模修繕や医療機器購入等の設備投資による減価償却費の増加が見込まれていることから、医療収益の増加を軸とした増収への取り組みが必要と考えます。  
健全な病院経営の実現に向け、内科をはじめとした医師の増員に取り組み、充実した医療体制を確保するとともに、市民病院としての役割を果たし、専門性や特色を持った体制を整備することで、医療収益の増加を目指します。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。